

2010年3月期 第1四半期 決算短信添付資料（決算説明会資料）

※本資料に含まれる数値は各事業の業績を分かりやすく説明するために使用しており、
財務諸表の数値と異なる場合があります。
※詳しくは各スライドの脚注をご覧ください。



全社 第1四半期実績：見込達成に向け順調なスタート

	(単位: 億円)		
	2008年度	2009年度	増減
税売上高*	5,592	4,748	15.1% 減
EBITDA	1,806	1,425	21.1% 減
【のれんの償却影響を除く】			
営業利益**	1,372	1,092	20.4% 減
経常利益**	993	1,037	4.5% 増
四半期純利益**	436	678	55.3% 増

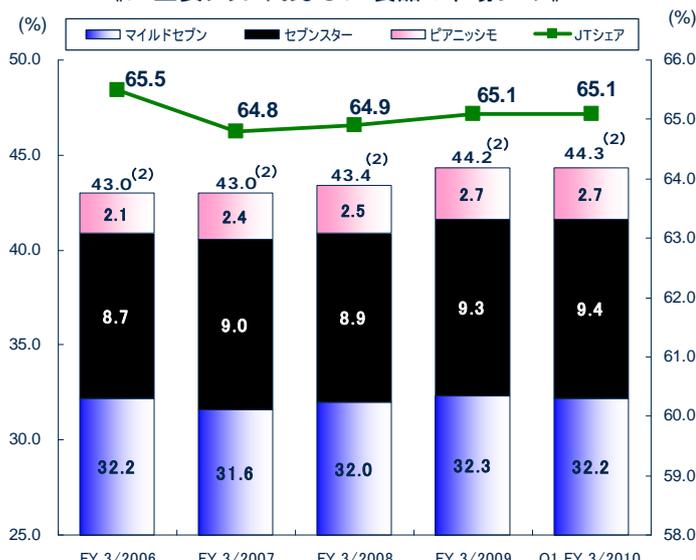
- 国内たばこ事業：シェアは前年度の水準を維持、減収・減益も見込に沿った実績
- 海外たばこ事業：主に値上げ効果により増収・増益（為替中立ベース※）、為替のマイナス影響は4月の通期見込発表時の想定よりも軽微
- 年度見込の修正は行なわない

※前年の為替レートを使用了した場合

*国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業、その他 及び
海外たばこ事業における物流事業、Private Brand、製造受託、その他を控除
**のれん償却影響除き

国内たばこ事業 第1四半期実績: シェアは前年度の水準を維持、前年同期比+0.2%up

《JT主要ブランドおよびJT製品の市場シェア》⁽¹⁾



(1) 新ベース=JTオリジナルブランド + JTIの国内向け製品(キャメル・ウイinston・セーラム等)
 (2) JT主要ブランド合計

	2008年度	2009年度	増減
税売上高*	1,706	1,583	7.2%減
EBITDA	755	696	7.9%減
営業利益	558	546	2.2%減
販売数量	420	390	7.2%減

- 主要ブランドの着実な成長によりシェアは前年度の水準を維持、前年同期比では+0.2%up
- 販売数量の減少に加え、原材料費の増加等により減収・減益だが見込に沿った実績

* 輸入たばこ/国内免税/中国事業/その他を控除



国内たばこ事業 第1四半期実績: 数量7.2%減だが特殊要因を除けば見込通り推移

《数量減要因分析》

△7.2%: 09年度第1四半期 販売数量

△2.3%程度: 08年度taspo導入前在庫積み増し影響(1)

△0.7%程度: taspoに因る購買機会の損失影響(2)

△4.2%程度⇒上記の特殊要因を除けば見込通りに推移

(1) 一時的要因であり、通年では影響が解消する

(2) 通年ベースでは影響は小さくなっていく

- 08年度のtaspo導入前在庫積み増し影響およびtaspoに因る購買機会の損失影響を除けば見込通り推移



海外たばこ事業 第1四半期実績: 為替中立※では増収・増益

<USDベース>

(単位: 百万USD)

	2008年度	2009年度	増減		2008年 1-3月期 期中平均レート	2009年 1-3月期 期中平均レート	増減	2009年度 想定レート
税売上高*	2,421	2,148	11.3%減					
EBITDA **	948	789	16.8%減	RUB/USD	24.26	34.14	28.9%安	36.00
(参考) 為替中立ベース※				GBP/USD	0.50	0.68	26.3%安	0.73
税売上高*	2,421	2,611	7.9%増	EUR/USD	0.68	0.76	10.0%安	0.81
EBITDA **	948	1,016	7.1%増					
総販売数量(億本)***	1,024	1,009	1.4%減					
GFB販売数量(億本)	556	571	2.6%増					

- 主に値上げ効果により、為替中立※では増収・増益
- 為替のマイナス影響により減収減益だが、4月の通期見込発表時の想定よりも軽微

※前年の為替レートを使用した場合

*物流事業/Private Brand/製造受託/その他を控除
 **JTへのロイヤリティ支払い前
 ***Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

5



海外たばこ事業 2009年1-6月期 販売実績速報: 主要市場におけるシェアは着実に上昇

【2009年1-6月期 地域別 販売実績】

【主要市場におけるシェア推移】

	総販売数量*	GFB販売数量
Total JTI	-0.9%	+1.8%
South & West Europe	+0.4%	+2.4%
North & Central Europe	+6.5%	+5.0%
CIS+	-1.8%	+3.7%
Rest of the World	-2.7%	-2.2%

	2008年 6月**	2009年 6月**	増税	値上げ
Italy	16.5%	17.8%		2月
France	13.9%	14.4%		
Spain	20.3%	20.7%	6月	1月、6月
UK	38.8%	38.7%	4月	2月、4月
Russia	35.2%	36.3%	1月	1月、3月
Turkey	15.7%	18.0%	6月	3月、7月
Taiwan	37.4%	39.4%	6月	6月

出典: AC Nielsen及びJTI内部データ

- フィリピンにおいて計画していたビジネスモデル変更の影響、中東の一部市場における不安定な事業環境の影響、ウクライナにおけるセールスポリシーの強化、および一部新興国(カザフスタン、ルーマニア)における経済減速の影響により総販売数量は前年を下回る
- 主要市場におけるシェアは英国を除き着実に上昇、英国のシェアも6月単月では39.1%と前年同期比0.4%ポイント上昇
- ロシアではサブプレミアムセグメントを含めダウントレーディングの兆候があるが、JTIのブランドポートフォリオは充実しており、消費動向の変化にも対応可能

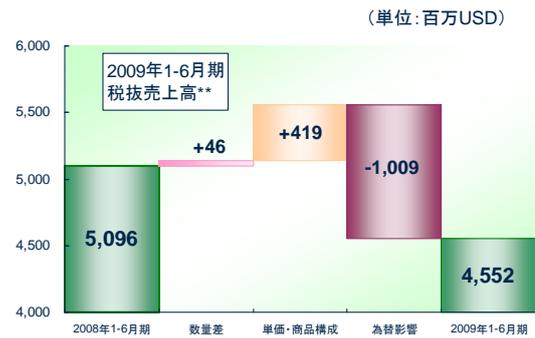
* Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み
 ** 6月までの12ヶ月移動平均

6



海外たばこ事業 2009年1-6月期 販売実績速報: 数量の下ブレリスクが存在するもEBITDA見込みは達成可能

	2009年		
	1-3月期	4-6月期	1-6月期
総販売数量*(億本)	1,009 (-1.4%)	1,151 (-0.4%)	2,161 (-0.9%)
GFB販売数量(億本)	571 (+2.6%)	642 (+1.1%)	1,213 (+1.8%)
税売上高** (百万USD)	2,148 (-11.3%)	2,404 (-10.1%)	4,552 (-10.7%)
千本当税売上高*** (USD)	21.5 (-11.7%)	21.1 (-11.3%)	21.3 (-11.5%)
(参考) 為替中立ベース			
税売上高** (百万USD)	2,611 (+7.9%)	2,950 (+10.3%)	5,561 (+9.1%)
千本当税売上高*** (USD)	26.1 (+7.3%)	25.8 (+8.8%)	26.0 (+8.1%)



- 値上げ効果が税売上高の伸長ドライバーとなり、千本当税売上高(為替中立ベース※)は8.1%成長
- 販売数量見込みに対しては、一部新興国(カザフスタン、ルーマニア)における経済減速の影響、中東の一部市場における不安定な事業環境の影響、およびフィリピンにおいて計画していたビジネスモデル変更影響により下ブレリスクがある
- 値上げ効果と継続的なコストの最適化により、4月の通期見込発表時の為替を前提としたEBITDA見込の達成は可能

※前年の為替レートをを使用した場合

* Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み
 **物流事業/Private Brand/製造受託/その他を控除
 ***Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込みの総販売数量から、売上高に計上していないJV販売数量を控除



海外たばこ事業: 為替変動の影響

	2009年 1-6月期 期中平均レート	2009年度 想定レート	増減
RUB/USD	33.18	36.00	8.5%高
GBP/USD	0.68	0.73	7.4%高
EUR/USD	0.76	0.81	6.6%高
JPY/USD	95.59	95.00	0.6%安

<2010年3月期見込に対する為替変動の影響*>

- 仮にUSDが全ての通貨に対して1%変動するとEBITDAは\$35MM変動**
- 上期の期中平均レートが下期も続けば、4月の通期見込発表時の為替を前提とした通期のEBITDA見込に対する為替のプラス影響は\$370MM程度と試算
- 円ドルレートは、ほぼ想定通りに推移

* USD vs. JPYを除く全ての主要通貨

**内訳としては、RUB影響40%、GBP影響15%



医薬/食品事業 第1四半期実績:ほぼ見込み通りに推移

【医薬事業】

【食品事業】

	(単位:億円)				(単位:億円)		
	2008年度	2009年度	増減		2008年度	2009年度	増減
売上高	161	111	31.0%減	売上高	1,126	988	12.2%減
EBITDA	30	△23	-	EBITDA	18	38	109.2%増
営業利益	21	△32	-	営業利益	△27	△36	-

※4月本決算発表時からパイプラインの変更なし



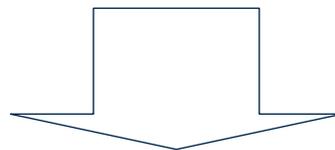
- 医薬事業:鳥居薬品は増収も、前年同期にマイルストーン収入があった事により減収・減益
- 食品事業:チルド加工食品からの撤退および一部子会社を連結対象外とした影響等により減収、EBITDAでは、リース会計基準の変更影響を除けば3億円の減益
- 医薬・食品事業ともに、ほぼ計画通りに推移

9

ひとの
ときを、
想う。 JT

IFRS移行について:最速で2012年3月期を目標にIFRSの早期適用を目指す

- グローバルな事業展開を推進するJTとして、資本市場における国際的な比較可能性を高める動きに対応
- JTグループ内における会計方針の統一による財務報告の品質向上
- JTグループの資金調達能力向上・資金調達の多様化の実現



IFRS(国際会計基準)の早期の任意適用が必要

※ただし今後のIFRSの基準自体の改訂が予定されているため、実際の移行時期については適切なタイミングで最終判断

- 準備段階を終え、本年8月より本格的にプロジェクトをスタート
- 2012年3月期(年度末決算)を最速の目標として、グループ全体でプロジェクトを推進

10

ひとの
ときを、
想う。 JT

(Back Up Data)

11

ひとの
ときを、
想う。 JT

<Back Up Data No1> 全社 第1四半期実績

	2008年度	2009年度	(単位: 億円) 増減
税込売上高	17,198	14,631	△ 2,566 (14.9%減)
税抜売上高*	5,592	4,748	△ 844 (15.1%減)
EBITDA	1,806	1,425	△ 380 (21.1%減)
営業利益	1,104	842	△ 261 (23.7%減)
経常利益	725	788	62 (8.6%増)
四半期純利益	169	428	259 (153.5%増)

- 営業外損益は為替差損益の改善、支払利息の減少により改善
- 特別損益は固定資産除却損益の改善、減損損失の減少、成人識別導入費用がなくなったことにより改善

*国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業、その他 及び
海外たばこ事業における物流事業、Private Brand、製造受託、その他を控除

12

ひとの
ときを、
想う。 JT

<Back Up Data No2> 海外たばこ事業 JPYベース第1四半期実績

<JPY・開示ベース>	(単位:億円)		
	2008年度	2009年度	増減
税込売上高	7,433	5,683	△1750 (23.5%減)
税抜売上高*	2,547	2,013	△534 (21.0%減)
EBITDA	947	679	△267 (28.3%減)
営業利益	522	333	△188 (36.1%減)
JPY/USD	105.25	93.76	△11.49 (12.3%高)

Note: 海外たばこ事業実績は1-3月期を連結

* 物流事業/Private Brand/製造受託/その他を控除

13

ひとの
ときを、
想う。 JT

<Back Up Data No3> 全社 2009年度 業績予想 (2009年4月30日公表)

	(単位:億円)		
	2008年度 実績	2009年度 見込	増減
税込売上高	68,323	60,000	△ 8,323 (12.2%減)
税抜売上高*	22,436	19,850	△ 2,586 (11.5%減)
EBITDA	6,462	4,750	△ 1,712 (26.5%減)
営業利益	3,638	2,440	△ 1,198 (32.9%減)
経常利益	3,075	2,270	△ 805 (26.2%減)
当期純利益	1,234	1,000	△ 234 (19.0%減)
ROE(%)	6.8%	6.2%	△0.6%
FCF	2,401	1,690	△ 711
【参考: のれんの償却影響を除く当期純利益、配当性向、EPS】			
当期純利益(億円)	2,289	1,970	△ 319 (13.9%減)
EPS(円)	23,894.55	20,563.50	△ 3,331.05
1株あたり配当金(円)	5,400	5,600	200
配当性向(%)	22.6%	27.2%	4.6%

*国内たばこ事業における輸入たばこ/国内免税/中国事業/その他 及び
海外たばこ事業における物流事業/Private Brand/製造受託/その他を控除

14

ひとの
ときを、
想う。 JT

臨床開発品目 (2009年7月30日現在)

開発名	主な適応症	開発段階
JTT-705 (経口)	脂質異常症	国内: Phase2
JTT-130 (経口)	脂質異常症	国内: Phase2 海外: Phase2
JTK-303 (経口)	HIV感染症	国内: Phase1
JTT-302 (経口)	脂質異常症	海外: Phase2
JTT-305 (経口)	骨粗鬆症	国内: Phase2
JTS-653 (経口)	鎮痛、過活動膀胱	国内: Phase1
JTT-654 (経口)	2型糖尿病	国内: Phase1 海外: Phase1
JTK-656 (経口)	HIV感染症	海外: Phase1
JTT-751 (経口)	高リン血症	国内: Phase2

当資料取扱上の注意点

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし事実または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます(なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

【参考資料】

2010年3月期 第1四半期実績 における増減要因の分析



当資料取扱上の注意点

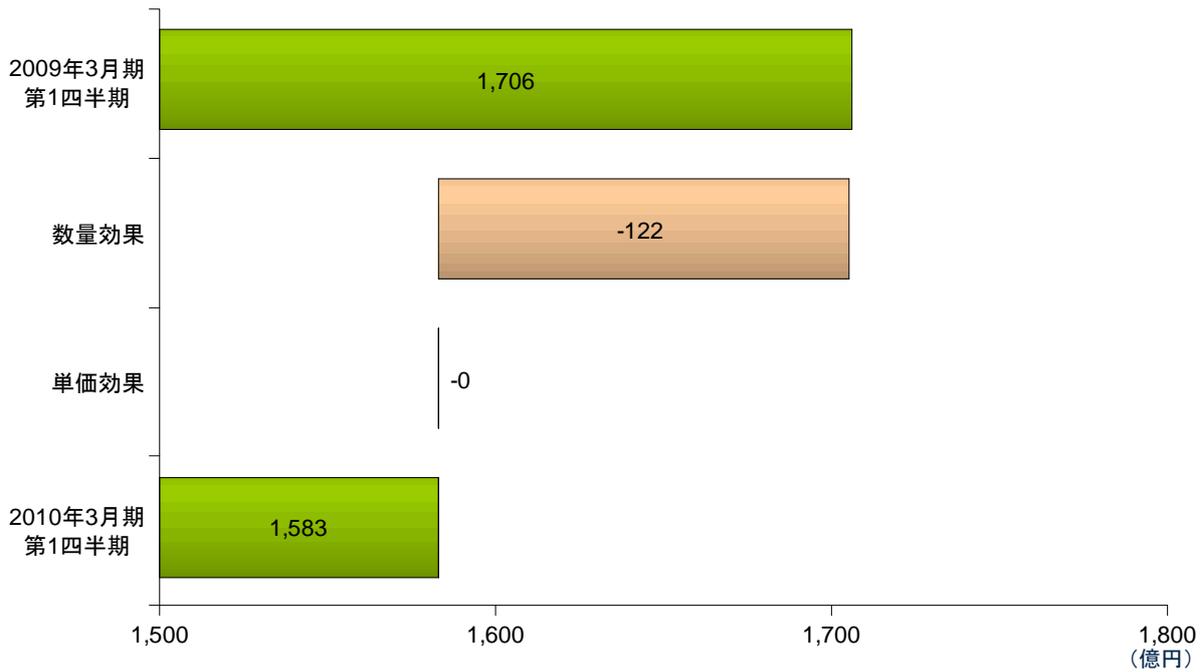
将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

2010年3月期 第1四半期 実績

国内たばこ事業 税抜売上高*



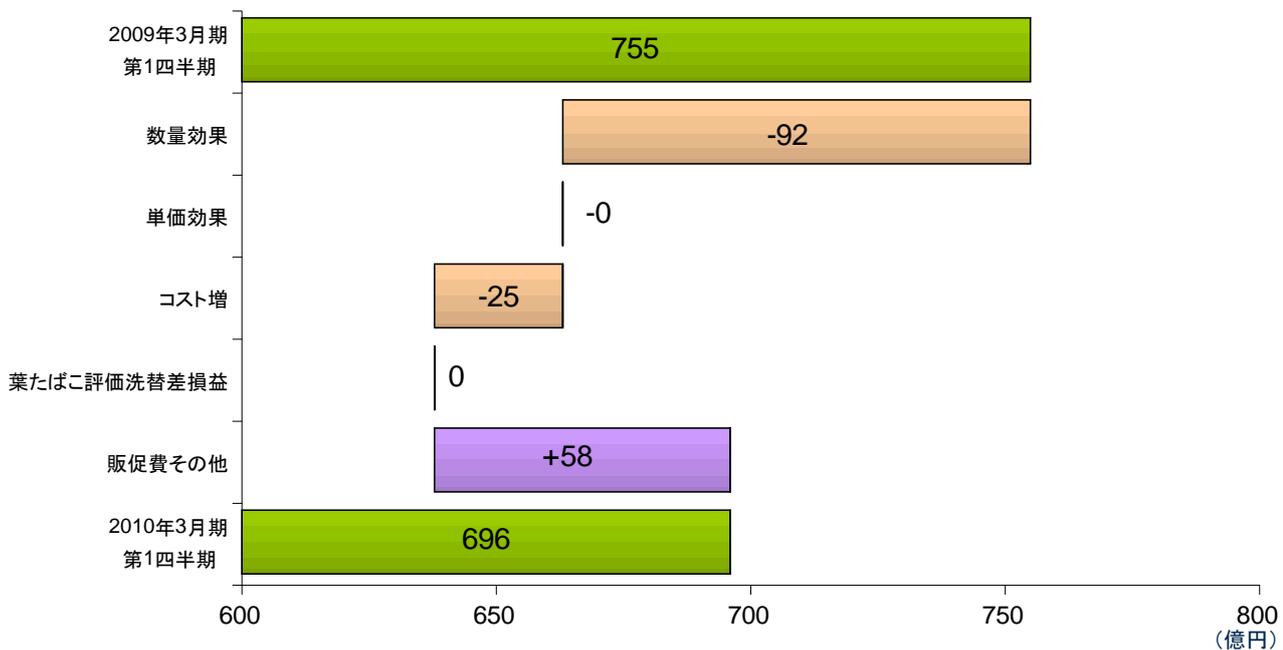
* 輸入たばこ/国内免税/中国事業/その他を控除

19

ひとの
ときを、
想う。 JT

2010年3月期 第1四半期 実績

国内たばこ事業 EBITDA

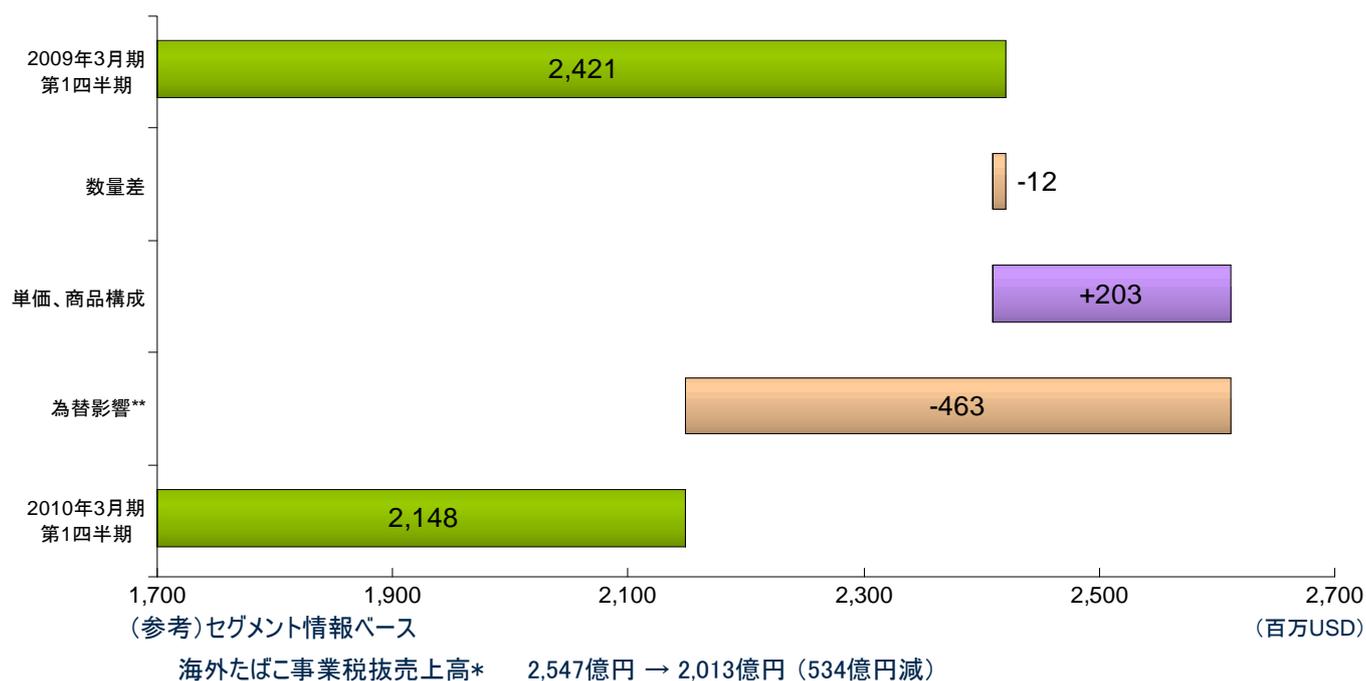


20

ひとの
ときを、
想う。 JT

2010年3月期 第1四半期 実績

海外たばこ事業 税抜売上高*



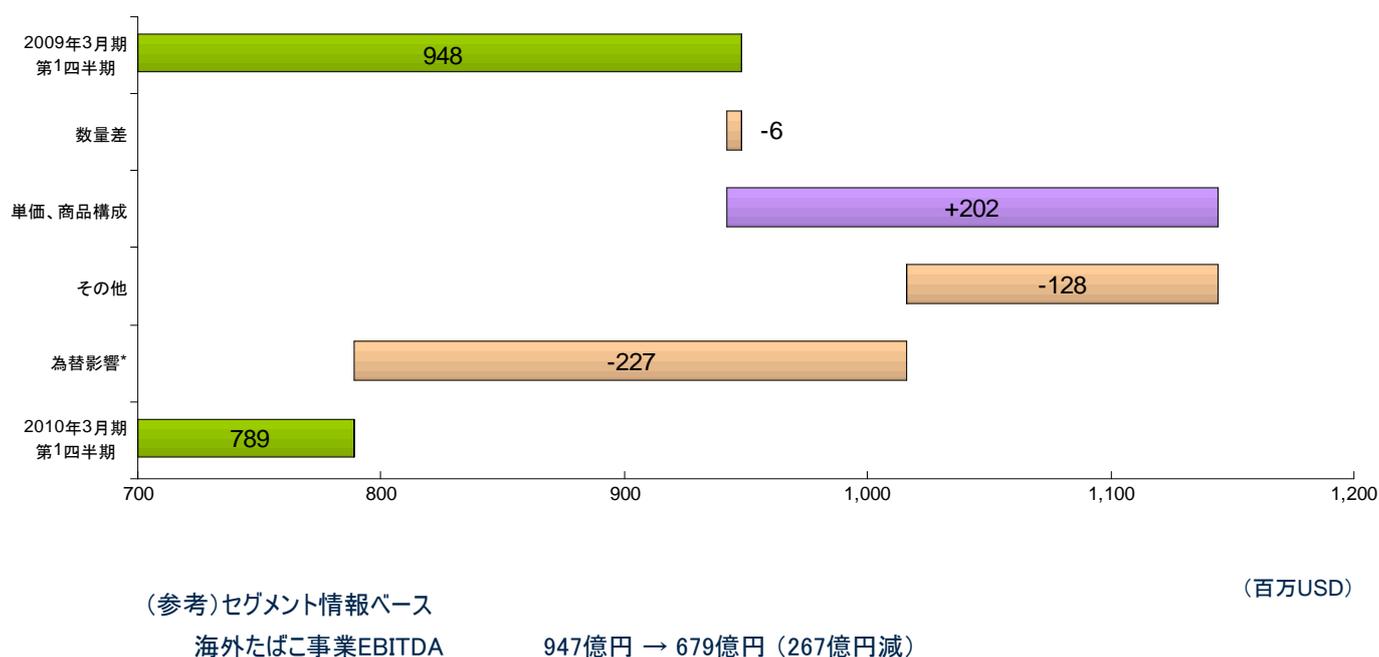
* 物流事業/Private Brand/製造受託/その他を控除
** USDと各現地通貨との間の為替影響

21

ひとの
ときを、
想う。 JT

2010年3月期 第1四半期 実績

海外たばこ事業 EBITDA (JTへのロイヤリティ支払前)



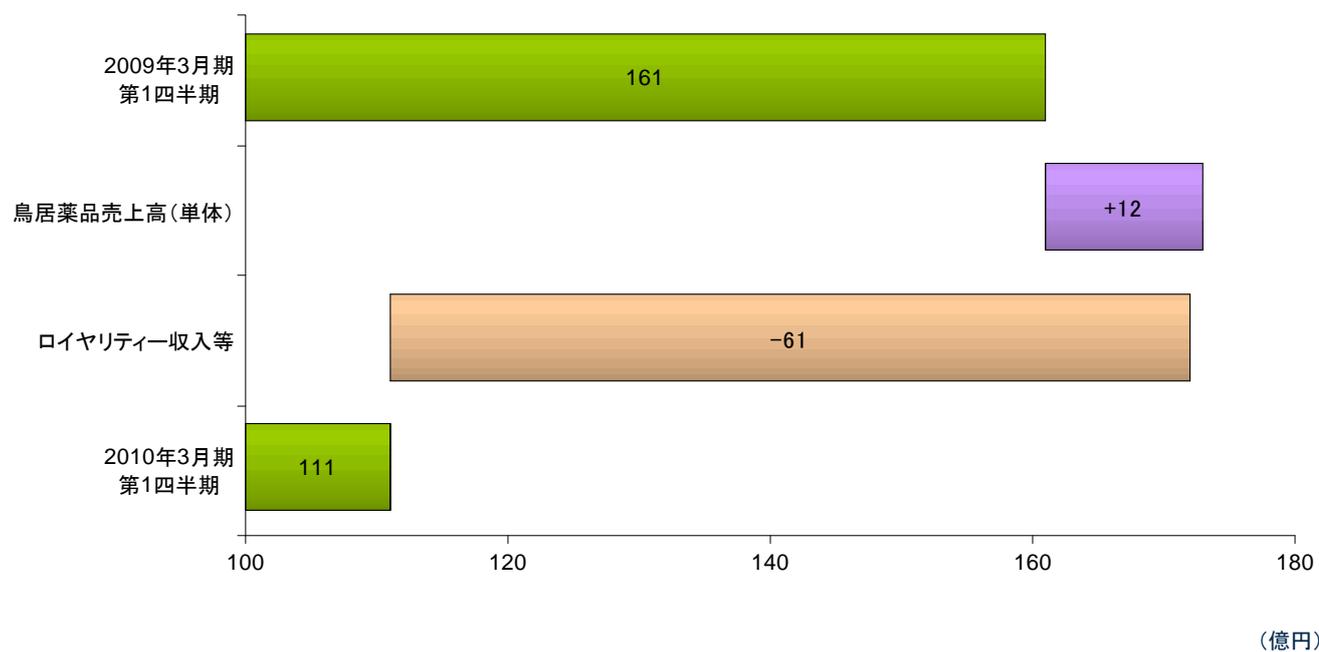
* USDと各現地通貨との間の為替影響

22

ひとの
ときを、
想う。 JT

2010年3月期 第1四半期 実績

■ 医薬事業 売上高

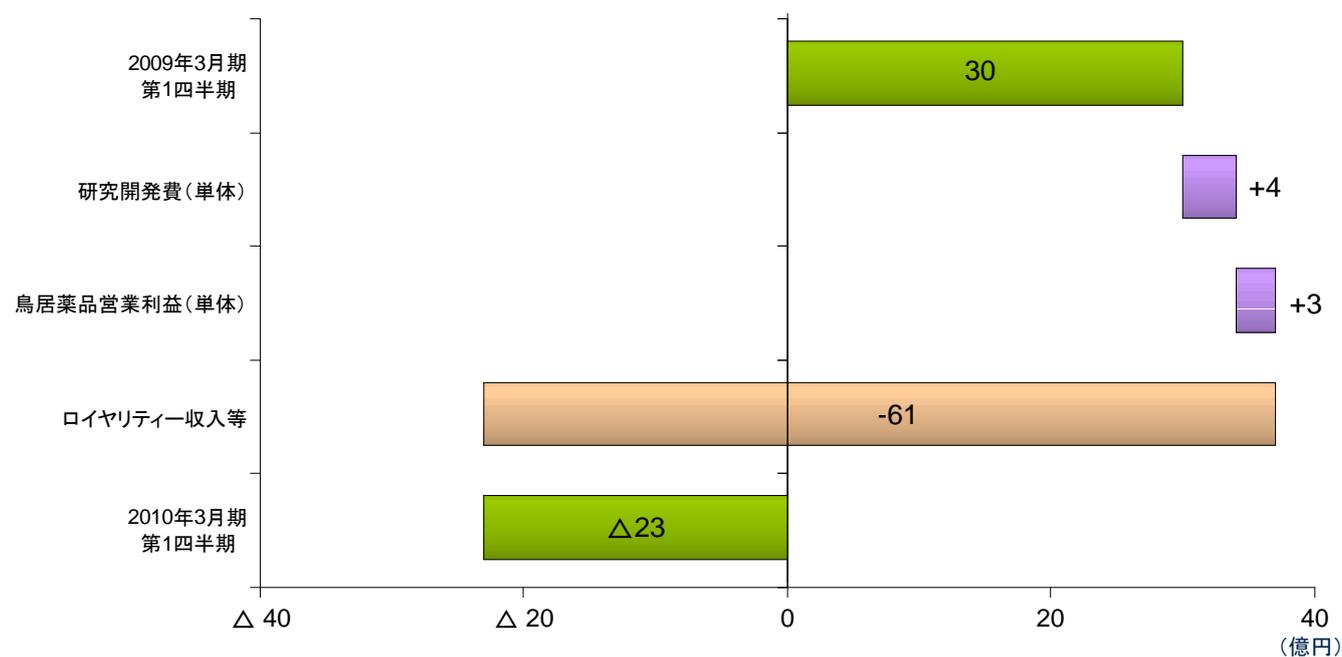


23

ひとの
ときを、
想う。 JT

2010年3月期 第1四半期 実績

■ 医薬事業 EBITDA

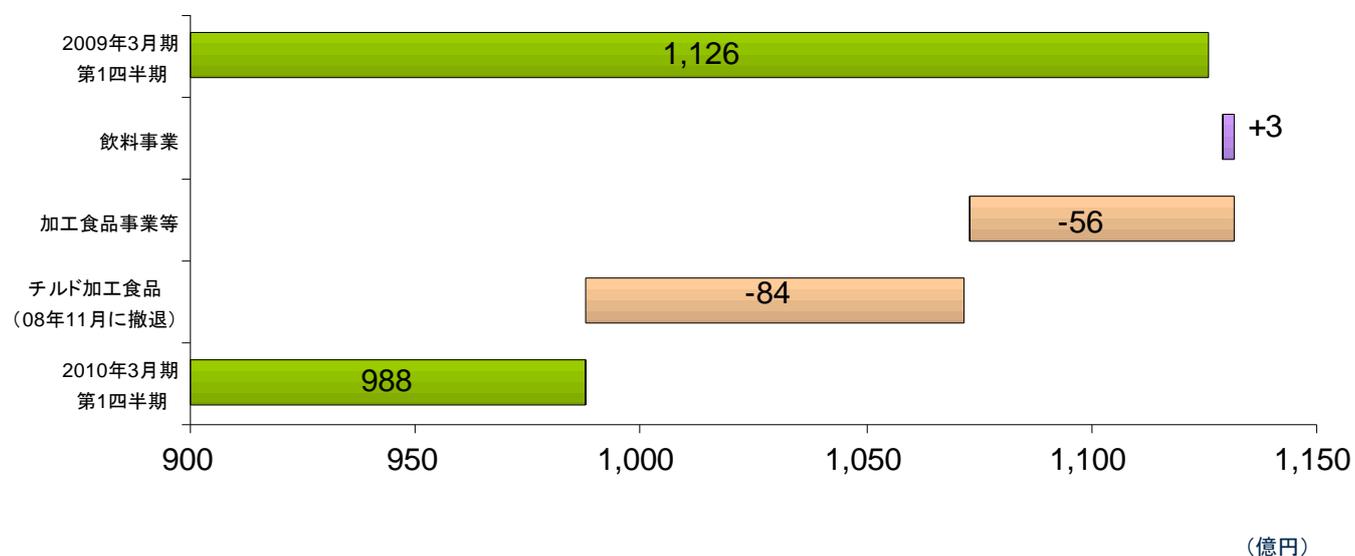


24

ひとの
ときを、
想う。 JT

2010年3月期 第1四半期 実績

■ 食品事業 売上高

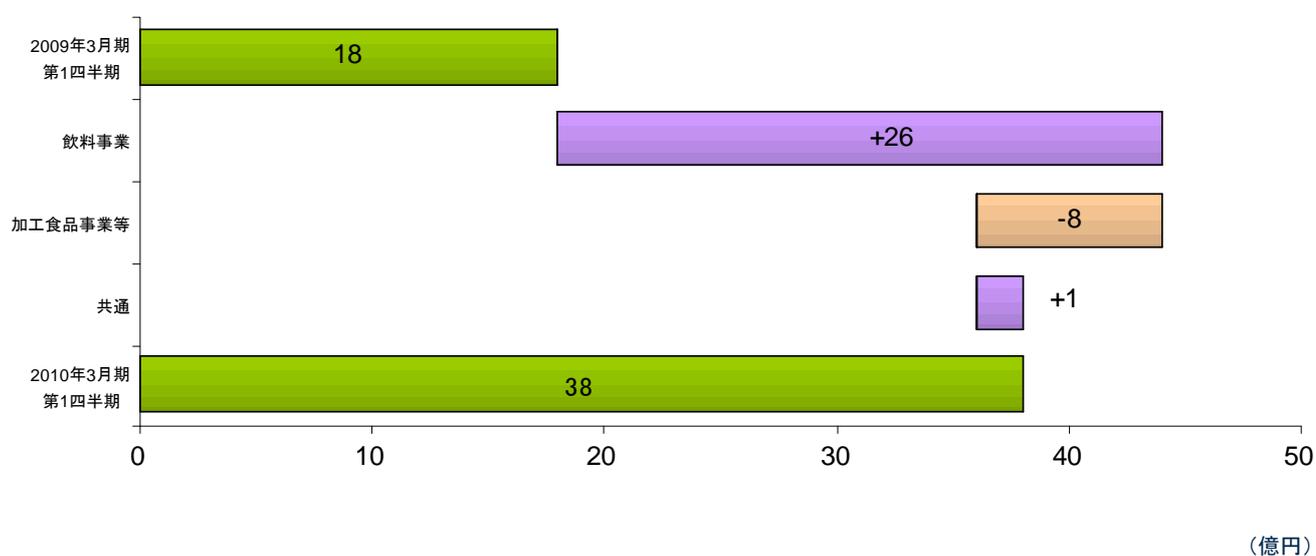


25

ひとの
ときを、
想う。 JT

2010年3月期 第1四半期 実績

■ 食品事業 EBITDA

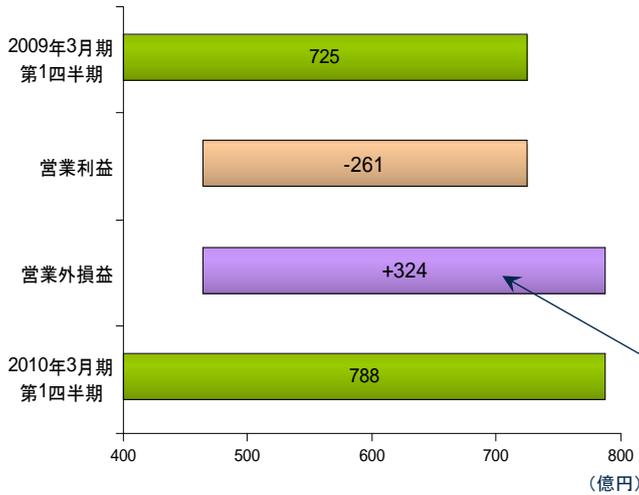


26

ひとの
ときを、
想う。 JT

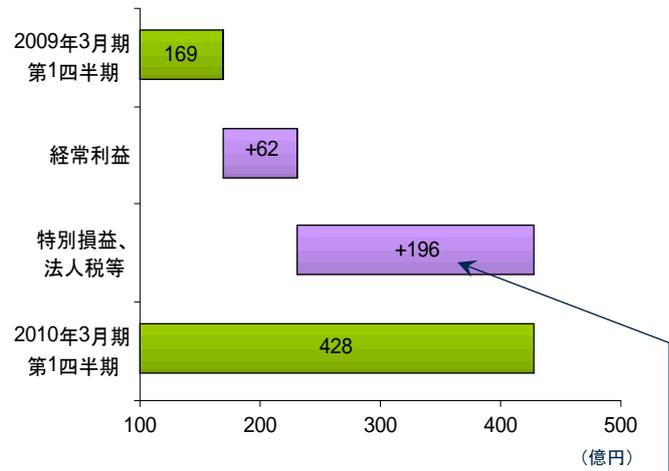
2010年3月期 第1四半期 実績

経常利益



改善要因: 為替差損益の改善: 308億円
支払利息の減: 31億円
悪化要因: 受取利息の減: 5億円
受取配当金の減: 2億円 等

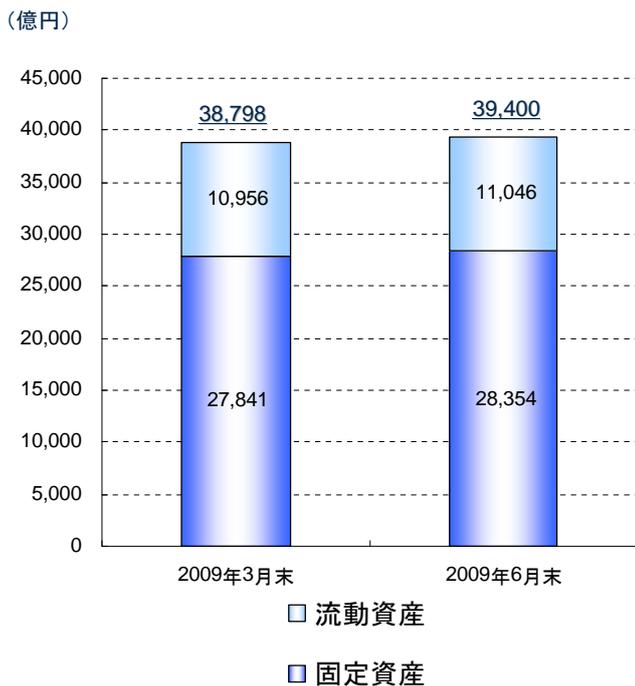
当期純利益



改善要因: 減損損失の減: 102億円
固定資産売却益の増: 84億円
成人識別自動販売機導入費用の減: 77億円
固定資産除却損の減: 38億円 等

2010年3月期 第1四半期 連結貸借対照表のポイント

資産の部



2009年3月末との比較

■ 流動資産は89億円増加

■ 固定資産は512億円増加

- ◆ のれんの増加 857億円
- ◆ 商標権の増加 91億円

2010年3月期 第1四半期 連結貸借対照表のポイント

■ 負債・純資産の部

(億円)



2009年3月末との比較

■ 負債合計は590億円減少

◆ 有利子負債の減少 △238億円

■ 純資産合計は1,192億円増加

◆ 為替換算調整勘定の
マイナス幅の縮小 +1,030億円

➤ 自己資本比率 40.0% → 42.5%

2010年3月期 第1四半期 決算データ集(1)

1. 業績ハイライト

(単位: 億円)

	08年6月期	09年6月期	増減
税込売上高	17,198	14,631	△ 2,566
税抜売上高 ^(注)	5,592	4,748	△ 844
EBITDA	1,806	1,425	△ 380
営業利益	1,104	842	△ 261
経常利益	725	788	62
四半期純利益	169	428	259

(注): 国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業、その他および海外たばこ事業における物流事業、PB、製造受託、その他を控除

(参考: のれんの償却影響を除く主要利益)

営業利益	1,372	1,092	△ 279
経常利益	993	1,037	44
四半期純利益	436	678	241

2. 売上高の内訳

(単位: 億円)

	08年6月期	09年6月期	増減
全社税込売上高 ^(注1)	17,198	14,631	△ 2,566
国内たばこ事業	8,426	7,797	△ 628
海外たばこ事業 ^(注1)	7,433	5,683	△ 1,750
全社税抜売上高 ^{(注1)(注2)(注3)}	5,592	4,748	△ 844
国内たばこ事業 ^(注2)	1,706	1,583	△ 122
海外たばこ事業 ^{(注1)(注3)}	2,547	2,013	△ 534
医薬事業	161	111	△ 49
食品事業	1,126	988	△ 137
飲料事業	466	469	3
加工食品事業	659	519	△ 140
その他事業	50	49	0

(注1): 海外たばこ事業は、1-3月期の実績

(注2): 国内たばこ事業の輸入たばこ事業、国内免税、中国、その他を除いた実績

(注3): 海外たばこ事業の物流事業、PB、製造受託、その他を控除した実績

3. 葉たばこ評価洗替差損益^(注)

(単位: 億円)

	08年6月期	09年6月期	増減
葉たばこ評価洗替差損益	△ 10	△ 10	-

(注): マイナス表示の場合は評価益

4. 販売費及び一般管理費の内訳

(単位: 億円)

	08年6月期	09年6月期	増減
販売費及び一般管理費	2,148	1,929	△ 218
人件費 ^(注)	579	544	△ 35
広告宣伝費	53	41	△ 11
販売促進費	360	292	△ 67
研究開発費	112	121	9
減価償却費	224	201	△ 23
その他	818	728	△ 90

(注): 人件費=報酬・給料手当+退職給付費用+法定福利費+従業員賞与+賞与引当金繰入額

5. 事業セグメント別EBITDA^(注1)

(単位: 億円)

	08年6月期	09年6月期	増減
全社EBITDA	1,806	1,425	△ 380
営業利益	1,104	842	△ 261
減価償却費 ^(注2)	701	582	△ 119
国内たばこ事業EBITDA	755	696	△ 59
営業利益	558	546	△ 12
減価償却費 ^(注2)	197	149	△ 47
海外たばこ事業EBITDA ^(注3)	947	679	△ 267
営業利益	522	333	△ 188
減価償却費 ^(注2)	424	345	△ 79
医薬事業EBITDA	30	△ 23	△ 54
営業利益	21	△ 32	△ 54
減価償却費 ^(注2)	8	9	0
食品事業EBITDA	18	38	20
営業利益	△ 27	△ 36	△ 9
減価償却費 ^(注2)	45	75	29
その他事業EBITDA	51	32	△ 18
営業利益	25	29	4
減価償却費 ^(注2)	26	3	△ 22

(参考)

(単位: 百万ドル)

海外たばこ事業EBITDA (ロイヤリティー支払前)	948	789	△ 159
-------------------------------	-----	-----	-------

(注1): EBITDA=営業利益+減価償却費^(注2)

(注2): 減価償却費=有形固定資産、無形固定資産、長期前払費用及びのれんの償却費

(注3): 海外たばこ事業は、1-3月期の実績

6. 主要投資案件の償却却費

(単位: 億円)

	08年6月期	09年6月期	償却年数	終了
JT				
旧RJRI関連				
商標権	73	27	10年	'09年4月
加ト吉				
のれん	22	32	5年	'12年12月

(単位: 百万ドル)

	08年3月期	09年3月期	償却年数
JTインターナショナル			
旧RJRI及び旧Gallaher関連			
商標権 ^(注)	71	56	主に20年
のれん	226	227	20年

(注): 商標権の償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

7. 資本的支出

(単位: 億円)

	08年6月期	09年6月期	増減
資本的支出	203	263	59
国内たばこ事業	82	87	4
海外たばこ事業 ^(注)	64	118	53
医薬事業	8	6	△ 1
食品事業	28	46	17
その他事業	17	0	△ 17

(注): 海外たばこ事業は、1-3月期の実績

8. 手元流動性^(注)

(単位: 億円)

	09年3月末	09年6月期末	増減
手元流動性	1,698	1,225	△ 472

(注): 手元流動性=現預金+有価証券+現金

9. 有利子負債^(注)

(単位: 億円)

	09年3月末	09年6月期末	増減
有利子負債	9,960	9,722	△ 238

(注): 有利子負債=短期借入金+社債+長期借入金+リース債務

10. 主な事業関連計数

【国内たばこ事業】	08年6月期	09年6月期	増減
JT販売数量 ^(注)	420	390	△ 30
国内総需要	648	599	△ 48
JT販売数量シェア	64.9%	65.1%	0.2%pt
JT千本当税込売上高	12,699	12,693	△ 6
JT千本当税抜売上高	4,056	4,056	0

(注): JT販売数量には国内免税販売分及び中国事業部分を含まない。当該数量は、2008年6月期10億本、2009年6月期9億本。

【海外たばこ事業】	08年3月期	09年3月期	増減
販売数量 ^(注)	1,024	1,009	△ 14
GFB販売数量	556	571	15
連結円ドルレート	105.25	93.76	△11.49

(注): Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

【医薬事業】	08年6月期	09年6月期	増減
研究開発費(単体)	58	54	△ 4

【食品事業-飲料事業】	09年3月末	09年6月期末	増減
自動販売機台数 ^(注)	254,000	255,000	1,000
うちマーキング機	32,000	31,000	△ 1,000
うちコンビニ機	76,500	80,000	3,500

(注): 自動販売機台数には、関係会社が運営する他社機(缶・ブリック等)及びカップ機を含む。「マーキング機」とは当社所有の自動販売機を指し、「コンビニ機」とは関係会社所有で他社の製品も取り扱いながら、JT製品の露出を積極的に行う自動販売機を指す。

2010年3月期連結業績予想(前年実績比較)

(単位:億円)

	09年3月期 実績	10年3月期 見込	増減
税込売上高	68,323	60,000	△ 8,323
EBITDA	6,462	4,750	△ 1,712
営業利益	3,638	2,440	△ 1,198
経常利益	3,075	2,270	△ 805
当期純利益	1,234	1,000	△ 234
ROE(株主資本利益率)	6.8%	6.2%	△0.6%pt
フリーキャッシュフロー(注)	2,401	1,690	△ 711

(注)フリーキャッシュフロー=(営業活動CF+投資活動CF)但し、以下の項目を除外する。

営業活動CFから
受取配当金/受取利息とその税影響額(42%)
支払利息とその税影響額(42%)
投資活動CFから
有価証券取得による支出/有価証券売却による収入
投資有価証券取得による支出/投資有価証券売却による収入/その他
上記の計算方式に従って計算したフリーキャッシュフローと表中のフリーキャッシュフローとの差は投資有価証券の取得及び売却に含まれる事業投資株式によるもの。

(参考:のれんの償却影響を除く当期純利益)

当期純利益	2,289	1,970	△ 319
-------	-------	-------	-------

(単位:億円)

	09年3月期 実績	10年3月期 見込	増減
資本的支出	1,342	1,660	317
国内たばこ事業	465	650	184
海外たばこ事業	597	640	42
医薬事業	34	30	△ 4
食品事業	232	320	87
その他事業	11	10	△ 1

事業セグメント別業績予想

(単位:億円)

	09年3月期 実績	10年3月期 見込	増減
税込売上高 ^(注1)	68,323	60,000	△ 8,323
国内たばこ事業	32,004	30,480	△ 1,524
海外たばこ事業 ^(注1)	31,183	24,750	△ 6,433
税抜売上高 ^{(注1)(注2)(注3)}	22,436	19,850	△ 2,586
国内たばこ事業 ^(注2)	6,488	6,190	△ 298
海外たばこ事業 ^{(注1)(注3)}	10,812	8,900	△ 1,912
医薬事業	567	430	△ 137
食品事業	4,359	4,130	△ 229
EBITDA	6,462	4,750	△ 1,712
国内たばこ事業	2,722	2,460	△ 262
海外たばこ事業	3,379	2,090	△ 1,289
医薬事業	48	△ 125	△ 173
食品事業	170	180	9
営業利益	3,638	2,440	△ 1,198
国内たばこ事業	1,882	1,880	△ 2
海外たばこ事業	1,747	710	△ 1,037
医薬事業	10	△ 165	△ 175
食品事業	△ 114	△ 80	34
減価償却費	2,824	2,310	△ 514
国内たばこ事業	840	580	△ 260
海外たばこ事業	1,631	1,380	△ 250
医薬事業	38	40	1
食品事業	284	260	△ 24

(参考)

(単位:百万ドル)

海外たばこ事業 調整後税抜売上高 ^{(注1)(注3)}	10,445	9,370	△ 1,075
海外たばこ事業EBITDA ^(注1) (ロイヤリティ支払前)	3,452	2,500	△ 951

(注1):海外たばこ事業は、1-12月期の実績

(注2):国内たばこ事業の輸入たばこ、国内免税、中国、その他を控除

(注3):海外たばこ事業の物流事業、PB、製造受託、その他を控除

※海外たばこ事業の販売数量において今回より計上するCigar/Pipe/Snusについては、従来から売上高に計上している。

(単位:円)

	09年3月期 実績	10年3月期 見込	増減
1株当り年間配当金	5,400	5,600	200
配当性向	41.9%	53.6%	11.7%
(のれん調整後)	22.6%	27.2%	4.6%

業績予想の主な前提条件

国内たばこ事業

(単位:億円)

	09年3月期 実績	10年3月期 見込	増減
販売数量	1,599	1,525	△ 74

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

海外たばこ事業

(単位:億円、円)

	08年12月期 実績	09年12月期 見込	増減
販売数量	4,459	4,560	101
GFB販売数量	2,455	2,620	165
1USDドル	103.48	95.00	△ 8.48

※Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

主要投資案件ののれん償却費

海外たばこ事業

(単位:百万ドル)

	08年12月期 実績	09年12月期 見込	償却年数	終了
IBRJRI及び旧Gallaher関連	910	910	20年	'27年3月

(注):のれんの償却終了は、IBRJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

食品事業

(単位:億円)

	09年3月期 実績	10年3月期 見込	償却年数	終了
加ト吉	92	92	5年	'12年12月

主要投資案件の商標権償却費

JT

(単位:億円)

	09年3月期 実績	10年3月期 見込	償却年数	終了
IBRJRI関連	294	24	10年	'09年4月

JTインターナショナル

(単位:百万ドル)

	08年12月期 実績	09年12月期 見込	償却年数	終了
IBRJRI及び旧Gallaher関連	273	220	主に20年	'27年3月

(注):商標権の償却終了は、IBRJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

【当資料取扱上の注意】

将来に関する記述等についてのご注意

- 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- 国内外の訴訟の動向
- 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- 国内外の経済状況
- 為替変動及び原材料費の変動

国内JT製品データ集

(注)：表中の数値には中国、香港、マカオ市場および国内免税市場販売分は含まれておりません。

国内たばこ事業関係係数

1. 四半期別販売数量

(単位：億本)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	427	430	437	382	1,677
2008年度	420	408	407	362	1,599
2009年度	390				

2. 四半期別定価代金

(単位：億円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	6,367	6,414	6,516	5,700	24,998
2008年度	6,269	6,086	6,073	5,399	23,828
2009年度	5,817				

(注)：販売定価代金 = 販売数量 × 小売定価

3. 四半期別千本当売上高

(単位：円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	12,698	12,694	12,704	12,702	12,699
2008年度	12,699	12,693	12,699	12,699	12,698
2009年度	12,693				

(注)：本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。
千本当売上高 = (販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税) / 販売数量 × 1,000

4. 四半期別千本当税売上高

(単位：円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	4,056	4,053	4,063	4,057	4,057
2008年度	4,056	4,054	4,060	4,058	4,057
2009年度	4,056				

(注)：本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。
千本当税売上高 = { 販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税 - たばこ税(国税) - たばこ税(地方税) - たばこ特別税(国税) } / 販売数量 × 1,000

5. 四半期別シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	64.9	64.5	65.3	65.0	64.9
2008年度	64.9	64.9	65.2	65.2	65.1
2009年度	65.1				

伸張セグメントシェア

1. 四半期別ターール1mgセグメントシェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	13.9	13.7	14.0	14.3	14.0
2008年度	14.5	14.5	14.9	14.9	14.7
2009年度	14.9				

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	22.4	22.3	22.5	23.0	22.5
2008年度	23.2	23.0	23.5	23.7	23.3
2009年度	23.9				

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	62.0	61.6	62.1	62.0	61.9
2008年度	62.4	63.0	63.3	62.8	62.9
2009年度	62.3				

2. 四半期別メンソールセグメントシェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	7.2	7.5	7.2	7.5	7.4
2008年度	7.5	7.4	7.8	7.7	7.6
2009年度	7.6				

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	20.7	21.4	21.2	21.8	21.3
2008年度	21.9	22.1	22.2	22.4	22.1
2009年度	22.6				

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	34.9	35.2	34.0	34.4	34.6
2008年度	34.3	33.5	35.0	34.5	34.3
2009年度	33.8				

3. 四半期別320円以上製品セグメントシェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	5.6	5.2	5.4	5.3	5.4
2008年度	5.2	5.0	5.4	5.2	5.2
2009年度	5.1				

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	23.7	23.7	24.1	24.0	23.9
2008年度	23.9	24.0	24.6	24.5	24.2
2009年度	23.9				

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	23.5	22.0	22.5	21.9	22.5
2008年度	21.7	20.7	22.2	21.4	21.5
2009年度	21.3				

* 2006年4-6月期以前は300円以上製品セグメント

4. 四半期別D-spec製品シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	4.41	4.10	4.77	5.13	4.59
2008年度	5.10	4.82	5.04	4.85	4.96
2009年度	4.76				

* ビアニッショ及びプレミアは2006年3月より、ベヴェル・フレアは2006年12月より、D-spec製品として販売しております。

医薬事業 臨床開発品目（2009年7月30日現在）

開発名	開発段階	主な適応症	作用機序	詳細	権利
JTT-705 (経口)	国内：Phase2	脂質異常症	CETP（コレステリルエステル転送蛋白）阻害	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる	スイスのロシュ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出（同社ではPhase3）
JTT-130 (経口)	国内：Phase2 海外：Phase2	脂質異常症	MTP（ミクロソームトリグリセリド転送蛋白）阻害	MTPを阻害することにより、コレステロール及びトリグリセリドの吸収を抑制し、脂質値を低下させる	
JTK-303 (経口)	国内：Phase1	HIV感染症	インテグラーゼ阻害	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	米国ギリアド・サイエンシズ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出（同社ではPhase3）
JTT-302 (経口)	海外：Phase2	脂質異常症	CETP（コレステリルエステル転送蛋白）阻害	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる	
JTT-305 (経口)	国内：Phase2	骨粗鬆症	CaSR（カルシウム感受体）拮抗	副甲状腺細胞のCaSRに作用し、血中Caの感知を阻害することで副甲状腺ホルモンの分泌を促し、骨の代謝回転を高めることにより骨形成を促進する	米国メルク社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出
JTS-653 (経口)	国内：Phase1	鎮痛、過活動膀胱	TRPV1（パノロイド受容体1）阻害	知覚神経に存在するTRPV1の働きを阻害することにより症状を改善する	
JTT-654 (経口)	国内：Phase1 海外：Phase1	2型糖尿病	HSD-1（11βヒドロキシステロイド脱水素酵素）阻害	HSD-1の働きを阻害することにより、過剰なグルココルチコイド作用を抑制する	
JTK-656 (経口)	海外：Phase1	HIV感染症	インテグラーゼ阻害	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	
JTT-751 (経口)	国内：Phase2	高リン血症	リン吸着剤	消化管内で食物から遊離するリンを吸着することで、リンの体内吸収を抑える	米国ケリックス・バイオファーマシューティカルズ社より日本における開発・商業化権を導出（鳥居薬品と共同開発）

前回（2009年4月30日）公表時からの変更点：なし